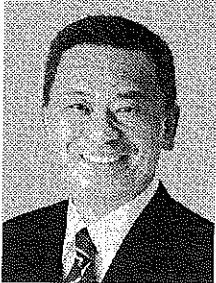


座右の銘



參議院議員
高橋 克法

祖父との記憶の中に、筑波大学名誉教授の村上和雄先生によれば、「ね天道様は必ず見ている」「天知る・地知る・我知る」「天に貯金をする」という言葉があつた。世間的には、人に賣んでもらえるようなを行いを重ね天に貯金をしておくと、後で利悪がついて必ず還ってくる。しかし、すぐに実を結ぶときも、恵まれなかつた祖父だったが、いつも飄々として諭してくれた。

議院議員である。特に40歳で出馬した町長選は120%勝てないと言わされたが蓋を開ければ大勝だった。その時に感じたのだ。
人生を省みて、自分といふ者たちが国会議員としてあるのは自分の
ないか」といふじだらしい。陰徳を積むと同じじじじだ。

これが幕末明治の日本
を救つたのではないの
か。

先人が築いた美しい日本のため

日々陰徳を積んでいきたい

これが幕末明治の日本
を救つたのではないの
か。

あれば何千年もかかる力では決してない。国ときもあり、その見返りも、人間は一代限りではなくずっと続くのだから、自分の代では会議費秘書として至誠なくとも、後の代に見はまつたくなかった。それで積まなければ貯金は返りがあればいいではそれが県議、町長、参議院議員に立てる環境に来て助けてくれたのだ。しかし下ろすばかり人生の瀬戸際で下りて、と。

元祖様の天の貯金が
主の瀬戸際に下りて
助けてくれたのだ
しかし下ろすばかり
頼まなければ貯金は
ついてしまう。ど
近いもの買う。日本
の人のために自分は遠
くのスペースに止め
る。食料品買う時、
皆が日付の新しいもの
を買うと古いものが売
れ残り廃棄処分され
しまうので賞味期限の